



ダメ！ 関電の耐震安全性評価結果中間報告

- - - 地震の大きさを過小評価 - - -

国が新たに出したレシピで評価し直してください

(地震調査研究推進本部【雑本】の4月11日のレシピ)

昨年 柏崎刈羽原発を襲った「地震動」を使って、

原発の耐震性を評価し直してください！



関西電力は、
真摯に誠意をもって
「原発の耐震性について」
公開討論会を開いてください！

5月13日、関西電力が出した原発の耐震安全性評価の中間報告についての交渉を行いました。

私たち若狭ネットは、この交渉日より1ヶ月以上も前に「申し入れ」と「公開質問書」を送りました(新たな疑問に対しては、4月28日に再提出)。しかし、関電がわの回答内容は、おそまつで、まともに回答をしないものでした。またまたがっかりさせられました。私たちが交渉の中で、詳しく説明を求めると、まともに答えられず、「今後の宿題にします」といいながら、「じゃあ次の交渉の日程を詰めよう」といって、6月は、株主総会があるので無理です。7月に延ばしてほしい」と先延ばしをする始末でした。

原発の耐震性について、多くの人々が不安を持っています。新潟県柏崎刈羽原発がM6.8の直下地震によって、緊急停止しました。やはり原発は危ない」と思う人々が増えています。

そこで、私たちは、ぜひ福井と阪で公開討論会を開いてほしいと求めました。

関電が今回の評価報告を自信を持って国に提出したのなら、関電も早く「公開説明会をやりましょう」と言うでしょうが、あいまいで、やるともやらんとも言わない返事だったのです。やはり何か隠しているな」と思わせるに十分でした。

私たちは、公開討論会を開くように、再度要求していきます。

関電のお粗末な回答(その1)

・シビアなデータは回答しません



私たちに公開した関電の報告内容には、詳しいデータは公表されておらず、美浜原発に関しても、肝心の「野坂断層帯と海域B断層の連動」についての詳しいデータは一切明らかにされていません。これでは、中間報告の妥当性を客観的に評価することはできません。より詳しいデータを即刻公開し、誰でもが、なるほど納得できるものでなければなりません。しかしながら、関電は、詳しく情報を公開するつもりは一切ないことを明らかにしたのです。

関電のお粗末な回答 (その2)

- ・ 活断層の長さを短くしたりして地震の大きさをごまかしていたことは、あやまりません。

これまで、関電は、活断層の長さを過小評価したり 孤立した短い活断層の長さでは地震規模が小さいから心配ないと主張してきました。また、基準地震動S2は万万が一を考慮したものであり、これ以上の地震動はもたらされない」という説明でした。「これはウソだったのでしょうか。」の質問には、「よりよくするために見直しをしたということで、過去のやり方が間違っていたというわけではないと思っている」と、開き直るのでした。

原発はビビリ振動に弱く、
直下地震はビビリ振動が大きい



私たちは、阪神淡路大震災後、若狭にある原発で直下地震がおこれば・・・とい疑問に対して、関電や国と交渉を重ねながら、原発耐震性の問題点を学習してきました。

若狭湾は、地震が起こっていない空白地帯であり、関西電力は近くに大きな活断層が見られないとして原発を建設し、運転してきたのですが、今では、原発周辺に次々と重大な活断層が見つかり、大きな地震を引き起こしかねないことがわかってきたのです。

原発はとても頑丈に建てられているから大丈夫だと宣伝していました。しかし、地震動には、短周期の地震動(ビビリ振動)や長周期の地震動(ゆっさゆっさ振動)などがあり、がっちり建てられている原発では、ビビリ振動の強い直下地震に弱いのです。直下地震で建屋や施

設が変形したり壊れたりしてしまうのです。

新潟県中越沖地震は、M6.8の地震規模でしたが、柏崎刈羽原発7基すべてで3000件以上の損傷・トラブルを引き起こしました。原発設計時に考え出された地震の揺れよりはるかに大きな地震動が原発を襲ったのです。それでも東京電力は、「想定以上の地震が本社の原発を襲いましたが、自動停止はしましたし、放射能は漏れなかったので、安全性は証明された」として、原発の運転再開に動き出しています。原発は小さなトラブルから、冷却不能という原発重大事故に至る危険な設備であることを今一度考えてみなければなりません。



活断層の長さが長くても
地震の大きさを過小評価している

今回の中間報告を見ると、活断層の長さが、長くなっているにもかかわらず、地震の規模が小さくなっているケースが見受けられます。

これは断層面積を断層モデルの式に代入して地震規模(地震モーメント)を求める方式に変えたからです。地震の規模はこれまで通りで評価すべきです。

新潟県中越沖地震の柏崎刈羽原発敷地内の解放基盤表面の観測地震動(はざとり波)を震源を特定せず策定する地震動」に加えるべきです。

私たちは関電に対してM7.3の直下地震に耐えられない原発は閉鎖するよう求めます。そして、原発の耐震性について公開討論会を開くよう強く求めます。原発震災が起こる前にすべての原発を止めましょう。

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

6月 28日(土) 午後2時~

柏崎刈羽原発を廃炉に 安心な暮らしを 全国集会

第一部 全体集会 14:00~15:30 (柏崎市みなとまち海浜公園) その後パレード 15:30~17:00

第二部 全国交流会 18:00~20:00 (柏崎市民プラザ 波のホール)

29日(日) 9:00~11:30 (柏崎市民プラザ) テーマ 地盤・地震、設備機器 耐震安全性、原発に頼らない街づくり

主催: 原発から命とふるさとを守る県民の会

025-281-8100、(新潟県平和運動センター) または tel/fax 0257-23-4376 (柏崎地区労)

7月 6日(日) 午後2時~4時半

知るシリーズ「G8洞爺湖サミットの何が問題か」

- 環境! エネルギー! 食糧! -

場 所: 苅田土地改良区画センター (地下鉄 我孫子駅下車 徒歩7分)

地球救出アクション97 くぼ 072-939-5660

7月19日(土) 午後1時半~4時

原発「市民が知っておきたいこと」地震多発期の日本に55基の原発が!!

場 所: 宝塚市男女共同参画センター 1A (阪急 宝塚駅下車すぐ)

原発の危険性を考える宝塚の会 たなか 0797-74-6091

7月21日(祝) 午後1時半~5時

ヒバクを許さないつどい パート9 討論集会

場 所: ヒューマインド (JR環状線 芦原橋駅下車 徒歩7分)

ヒバク反対キャンペーン

7月27日(日) 午後1時半~4時

クラスター爆弾禁止からウラン兵器禁止へ(仮題)

場 所 未定

編集後記

- ・ 中国の四川省で、M8の大地震が起こり、避難場所となるべき小、中学校の建物が倒壊し、子ども達が多数犠牲になりました。また、中国の軍事用の核施設も埋まっているとの情報もあり、核被害があったのかどうかの報道はなぜか伝わってきません。柏崎刈羽原発では、M6.8の地震で、大きな被害が起こりました。M8の地震が起こるとどうなるのでしょうか…。原発は一日も早く止めなければと警鐘を発しているように思えてなりません。

四国電力の伊方原発は、中央構造線(300キロ以上)という非常に長い活断層の上に建てられています。電気を生み出す原発を国の推進すべき発電所とする政策をやめ、省エネ対策を徹底し、自然エネルギーや分散型エネルギーへと転換していく国の政策が求められているのです。

- ・ 「上関原発を建てさせない祝島島民の会」から、「定例の島内デモがこの6月中旬で、1000回を迎えます」という報告がありました。本当に頭が下がります。私たちも反原発の闘いをこれからも粘り強く取り組んでいきます。

がんばりましょう

きよ子

